



福祉だより

第25号 平成26年10月1日
発行
社団法人弘前市社会福祉協議会
〒036-8063
弘前市大字宮園二丁目8-1
代表 ☎ 33-1161
ホームページ <http://www.hirosaki-shakyo.jp/>

第37回愛の広場レクリエーションの集い 障がい者とボランティアと一緒に楽しむ

7月13日(日)、青森県武道館で第37回愛の広場レクリエーションの集いが開催されました。この事業は障がい児者とボランティアや市民の交流を通して、活動意欲を持ってもらい、社会生活に融合することを願いに実施され、今年で37回目を迎えました。

今年は、市内の施設・団体の利用者や家族とボランティアなど約800名が参加しました。午前中は、○×クイズや玉入れのゲームの



玉入れのようす



りんご娘ライブ

ほか、NPO法人車椅子レクダンス普及会矢車草の皆さんと一緒にレクダンスを楽しみました。全員で昼食を食べ、午後からは毎年各施設団体のうた自慢がパフォーマンスを披露する、恒例のカラオケ大会が行われました。次のりんご娘とアルプスおとめのライブでは、りんご娘のかけ声で参加者も

曲に合わせて体を動かしながら楽しんでいました。最後は厚生学院保育科1年生によるよさこい演舞で盛り上がりも最高潮に達し、参加者やボランティアも全員参加して、会場いっぱい踊りと笑顔の輪が広がっていました。



みんなでよさこい

平成26年度地区社会福祉協議会会長紹介 地域ネットワークの充実・強化を目指して

弘前市社会福祉協議会では、地域福祉活動及び在宅福祉活動を事業計画の重点項目に位置づけ、市内26地区社会福祉協議会との連携・協働を強化するとともに、地域での見守り活動を行うほのぼのの交流事業や除雪支援事業等のさまざまな事業を通じて、住民の地域内における支え合いのネットワークの充実・強化に取り組んでいます。今年度の各地区社会福祉協議会会長は次の皆さんです。

- | | |
|-------------|-------------|
| 〔朝陽〕 對馬 英紀 | 〔一大〕 吉田 義信 |
| 〔二大〕 森内 秀次 | 〔三大〕 藤本 了康 |
| 〔和徳南〕 近藤 勝弘 | 〔時敏〕 大川 雅幹 |
| 〔北〕 毛内 初雄 | 〔城西〕 佐藤 信隆 |
| 〔西〕 清藤 範十郎 | 〔桔梗野〕 月永 寛 |
| 〔文京〕 花岡 宏六 | 〔和徳北〕 館田 武次 |
| 〔清水〕 近澤 玄一 | 〔豊田〕 阿保 敏秋 |
| 〔堀越〕 鹿野 甚悦 | |
| 〔千年〕 三上 一雄 | |
| 〔藤代〕 小山内 正美 | |
| 〔東目屋〕 西澤 敏朗 | |
| 〔船沢〕 對馬 寛 | |
| 〔高杉〕 西川 孝 | |
| 〔裾野〕 佐藤 謙一 | |
| 〔新和〕 増田 松雄 | |
| 〔石川〕 小田 桐久 | 〔東〕 船水 弘行 |
| 〔岩木〕 對馬 伴成 | 〔相馬〕 大澤 昭夫 |



会長会議のようす

平成26年度9月1日現在、〔 〕内は地区名、敬称は省略させていただきました。

会長就任にあたって

弘前市社会福祉協議会会長 白取 幹人

今年の4月1日から弘前市社会福祉協議会の会長に就任いたしました。日頃より当会の事業推進に多大なご協力をいただき誠にありがとうございます。

最近景気が上向いているとのニュースも多く見られますが、私たちの地域においてはまだまだ実感できないのが現状だと思われます。その一方、社会全体が抱える課題はますます多様化・深刻化し、また、地域内での人と人とのつながりも以前に比べ希薄になり、これまでの考え方ややり方では対応しきれない問題も多く見受けられます。

そのような中、当会では、重点目標である「すべての住民が共に生き、共に理解し、より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現」を目指し、これまで以上に地域に根差した活動を展開していかねばなりません。そのためにも、当会自体が地域の皆さんに必要とされるよう努力するとともに、地区社会福祉協議会関係者をはじめ、町会関係者や民生委員児童委員、そして多くの住民のご理解とご協力を得ながら、各方面と連携・協働しながらさまざまな事業推進に努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。



平成26年度 事業計画 (抜粋)

重点目標 「すべての住民が共に生き、共に理解し、より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現」

1. 地域福祉活動及び在宅福祉活動の推進

- (1)地区社会福祉協議会会長会議の開催
- (2)地区社会福祉協議会との協働
 - ①共通事業の推進 ()内は25年度実績
 - ・ほのぼの交流事業(対象者745名、協力員762名)
 - ・福祉安心電話の設置(33台設置、年度末台数412台)
 - ・一人暮らし高齢者給食サービス事業(実施10地区、のべ123回実施、のべ2,595名参加)
 - ・除雪支援事業(対象1,035世帯、ボランティア1,612名、のべ実施回数12,742回)
 - ・住民福祉座談会(5地区開催)
 - ・敬老大会開催事業(対象25,269名、出席5,723名)
 - ・地域ふれあい交流会開催事業(実施20地区、計3,227名参加)
 - ②社会福祉協議会研修会の開催
- (3)愛の広場レクリエーションの集いの開催
- (4)ふれあい相談所の開設
- (5)健康・生きがいづくり推進事業の実施
- (6)日常生活自立支援事業の推進
- (7)生活福祉資金、たすけあい小口資金の貸付

- (8)外出支援サービス事業の実施(岩木地区)
- (9)生きがい活動支援通所事業の実施(岩木地区)

2. ボランティア活動の振興

- (1)弘前市ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動の相談等、福祉協力校の指定、善意物品の寄託及び払い出し、ボランティア活動保険加入助成、ほか
- (2)研修、広報、及び啓発
 - ・さくらまつり車いす応援隊の実施、バリアフリーねぶたの実施、除雪ボランティアの募集育成、ほか

3. 社会福祉活動の啓発、普及、連絡

- (1)弘前市社会福祉大会の開催(11月21日)
- (2)広報誌(福祉だより)の発行(年2回)
- (3)ホームページでの情報提供
- (4)弘前市総合福祉作品展の開催

4. 身体障害者福祉センターの受託運営

5. ホームヘルプサービスセンターの設置経営

6. 福祉人材バンク(弘前福祉人材無料職業紹介所)事業

7. 福祉サービス第三者評価事業の推進

8. 屋内ゲートボール場「すばーく弘前」の事業推進

9. 法人の適正運営

- (1)会務運営
- (2)財源の確保及び会員の増強
- (3)財政(安定化)計画の策定
- (4)共同募金運動、赤十字社員増強運動

平成25年度資金収支計算書 (自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日)

平成26年度資金収支予算書 (自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日)

(単位：円)

項 目	26年度予算	25年度決算	項 目	26年度予算	25年度決算		
経常活動支出	人件費	181,797,000	186,323,111	経常活動収入	会費・寄付金	20,936,000	20,705,031
	事務費	46,471,000	44,668,826		補助・助成・受託金	190,246,000	193,961,272
	事業・貸付事業等	38,106,000	34,169,705		事業・貸付事業等	7,213,000	6,256,810
	共同募金配分金事業	1,481,000	1,507,100		共同募金配分金	3,669,000	3,793,000
	分担金	30,000	30,000		負担金	158,000	109,050
	助成金	33,566,000	32,049,461		介護保険	35,316,000	44,348,639
	経理区分間繰出	56,063,000	46,087,097		自立支援費等	8,220,000	11,951,890
					雑収入・受取利息	1,254,000	2,100,893
経常支出計 ①	357,514,000	344,835,300	経常収入計 ②	323,075,000	329,313,682		
経常収支差額 ③=②-①	△34,439,000	△15,521,618					
財務支出	借入金元金償還金	0	946,356	財務収入	借入金	13,946,000	0
	その他	15,845,000	1,871,160		積立預金取崩	40,000,000	10,000,000
財務支出計 ④	15,845,000	2,817,516	財務収入計 ⑤	53,946,000	10,946,356		
財務収支差額 ⑥=⑤-④	38,101,000	8,128,840					
予備費 ⑦	34,498,000	0					
当期収支差額 ⑧=③+⑥-⑦	△30,836,000	△7,392,778	前期末資金残 ⑨	34,046,000	49,270,988		
当期末資金残 ⑩=⑧+⑨	3,210,000	41,878,210					
合計 ①+④+⑦+⑩	411,067,000	389,531,026	合計 ②+⑤+⑨	411,067,000	389,531,026		

平成26年度事業計画と予算、平成25年度事業実績報告及び決算書は本会ホームページにも掲載されています。

弘前市社会福祉協議会ホームページアドレス <http://www.hirosaki-shakyo.jp/>

弘前さくらまつり車いす応援隊

日本一の桜をゆっくりと満喫

弘前さくらまつり会期中の4月23日から5月6日までの14日間、県内外から訪れる歩行に不安のある観光客にも、日本一の弘前公園の桜を十分楽しんでもらうために、公園内で車いすの貸し出しや介助を行う、車いす応援隊の活動が行われました。この活動は弘前市ボランティアセンターにより平成13年から行われており、今年で14年目となりました。

今年も118名のボランティアが登録し、期間中のべ308名が活動しました。介助は例年並みの107件でしたが、期間中前半が好天に恵まれたことや、弘前城石垣の改修工事が本格化する前ということもあってか人出が多く、車いすの貸し出しは前年に比べ555件増え1,284件となりました。

利用した方からは、「公園内を歩くのはあきらめていたが、ボランティアのおかげで桜を満喫することができた。」など、喜びや感謝の手紙もいただきました。

この活動や社会福祉協議会で実施する他の事業、また、一般の方への貸し出しなどに使用している車いすは、地域の皆さんや学校・企業・団体から寄贈されたものを活用しています。

バリアフリーねぶた「弘前やーやどー会」

弘前ねぶたまつり障がい者参加支援事業

弘前ねぶたまつりの初日の8月1日、バリアフリーねぶた「弘前やーやどー会」が出陣しました。

障がい児者のまつり参加を支援する事業として4年目となるこの活動に、今年は障がい児者14名、付き添い9



参加者全員で記念写真

名、ボランティア16名、社協職員17名の計56名が集まり、弘前市立図書館前で出陣式を行った後、弘前市役所ねぶた実行委員会のねぶた運行に参加しました。

揃いのTシャツと手ぬぐいを身にまとった「やーやどー」の大きな掛け声を響かせ、ねぶたとともに土手町を練り歩くと、沿道を埋めた多くの観光客からは、応援の掛け声や大きな拍手が送られ、参加者もうちわを振って元気な姿でこたえていました。

運行後は、弘前市障害者生活支援センターで休憩をとり解散となりましたが、参加した皆さんの顔には笑顔が溢れていました。



元気いっぱい「やーやどー」

今年も多くの皆さんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

児童・生徒福祉体験学習

思いやりの心を育む

弘前市ボランティアセンターでは7月19日、弘前市社会福祉センターで、子どもたちに社会福祉への関心を持って理解を深めてもらうこと等を目的に、児童生徒福祉体験学習が行われました。

この日は、今年度福祉協力校に指定されている学校のうち、第五中学校、松原小学校、北小学校、福村小学校から計17名の児童生徒が参加しました。

午前中は車いす操作体験、午後からは手話体験学習を行いました。手話体験では、聴覚障がい者や手話の基本について、講師から説明を受けた後、簡単な挨拶や自分の名前を手話で表現する学習を行いました。



手話体験のようす

弘前市ボランティアセンターでは、ボランティアに関する相談やボランティアが参加しての各種事業のほか、プルタブやペットボトルのプラスチックキャップ、その他物品の寄付の受付も行っています。詳細については下記までお問い合わせください。

◆弘前市ボランティアセンター

TEL.33-2039

高校生対象福祉施設体験講習会

福祉の仕事への理解を深める

弘前福祉人材バンクでは、7月28日から31日までの4日間、高校生を対象にした福祉施設体験講習会を開催しました。弘前市及び近隣市町9高校の1年生から3年生の男女27名が参加しました。

初日は特別養護老人ホーム三和園とデイサービスセンター城西を見学後、社会福祉の基礎知識の講義受講と車椅子操作の演習を行い、2日目と3日目はそれぞれ希望する高齢者施設や保育所21施設での現場体験を行いました。4日目の最終日は福祉施設で実際に働いている職員3名の方から、現場の声としてそれぞれの施設の特徴や、仕事上の体験談を聞かせていただきました。

施設体験では、初めての経験で戸惑いながらも、施設職員の方の指導により、高齢者や園児などとふれあい、実際の現場での仕事を見て体験する中で、介護や保育の仕事の大変さや大切さを実感している様子でした。

弘前福祉人材バンクは福祉の仕事の紹介や斡旋を行う無料職業紹介所です。求職登録や求人申込等利用方法のお問い合わせは下記までお願いします。

◆弘前福祉人材バンク（弘前福祉人材無料職業紹介所）

TEL.36-1830



現場の声を聴く

平成26年度 弘前市社会福祉大会

11月21日(金)開催

今年度の弘前市社会福祉大会が下記のとおり行われます。入場は無料です。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

- ◆とき 平成26年11月21日(金)
午後0時30分～4時予定
- ◆ところ 弘前市民会館大ホール
- ◆内容 ①オープニングアトラクション
②福祉協力校活動体験発表
③記念講演
④式典(社会福祉に貢献されてきた方の表彰や寄付者への感謝状贈呈等)

内容や順序は変更になる場合があります。また、当日は会場駐車場に限りがありますので、自家用車での来場はご遠慮いただくよう、ご協力をお願いします。



昨年の大会の様子

ふれあい高齢者軽スポーツ親善大会

12月～3月 4種目で実施

市内在住の60歳以上の方を対象にして、冬期間の運動不足解消による健康保持と生きがいづくり、及び参加者相互の親睦を図ることを目的に毎年度開催されている標記大会が、今年度も次のとおり開催されます。皆さんの参加をお待ちしています。

1. ラージボール親善大会
〔期日〕平成26年12月6日(土)
〔場所〕弘前B&G海洋センター体育館
2. グラウンドゴルフ親善大会
〔期日〕平成27年1月24日(土)
〔場所〕弘前克雪トレーニングセンター
3. ペタンク親善大会
〔期日〕平成27年2月21日(土)
〔場所〕弘前克雪トレーニングセンター
4. ゲートボール親善大会
〔期日〕平成27年3月14日(土)
〔場所〕弘前克雪トレーニングセンター

各大会の詳細は今後順次決定されます。また、申し込み方法等については「広報ひろさき」および当会ホームページにも掲載する予定です。



昨年度ラージボール

詳細については、弘前市社会福祉協議会までお問い合わせください。

TEL.33-1161

ふれあい相談所のご案内

日常生活上の心配ごとや悩みごとの相談を受ける「ふれあい相談所」を開設しています。

〔生活一般相談〕

月～金曜日、午前9時30分～午後3時30分

相談所へお越しいただいたの相談のほか、電話での相談も可能です。(下記電話番号)

〔専門相談(3種類)〕

法律(弁護士)、税務(税理士)、年金(社会保険労務士、労働関係の相談も可能です)

専門相談は各毎月1回実施しています。(日時はお問い合わせ下さい)また、専門相談はいずれも事前予約が必要です。(予約の際、氏名、連絡先、相談内容の概要等をお聞きます)

◆お問い合わせ先(専門相談の事前予約含む)

弘前市社会福祉センター2階「ふれあい相談所」

弘前市宮園2-8-1 TEL.33-2220

ホームページのお知らせ

弘前市社会福祉協議会では、本広報誌のほかに、多くの情報を随時発信し、できるだけ多くの皆さんに当会のことをより知っていただけるよう、ホームページを開設しています。

当会の事業所案内、各種事業内容の紹介や行事案内のほか、メールでのお問い合わせもできるようになっています。どうぞご利用ください。

◆ホームページアドレス

<http://www.hirosaki-shakyo.jp/>

赤い羽根共同募金運動スタート

自分の町を良くするしくみ

今年で68回目を迎える「赤い羽根共同募金運動」が今年も10月1日から12月31日までの3か月間、各都道府県単位で全国一斉にスタートします。

皆さんからの寄付金は、社会福祉協議会やボランティアグループ等が県内の各地域で行う身近な福祉活動や、社会福祉施設の作業用備品の整備等に役立てられています。

また、その一部は災害ボランティア活動などのために積み立てられ、「東日本大震災」では青森県内での災害ボランティア活動にも、このお金が使われました。

今年も皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。



この広報誌は、共同募金の配分金で作られています。